全調政連 ニュース　No. 2022-09

Ｒ４．９．５　　発行責任者　幹事長　佐々木 健

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

豊田俊郎国土交通副大臣、門山宏哲法務副大臣を表敬訪問いたしました（その2）

日　時　令和4年９月２日(金)11:00～11:30

場　所　法務省　　副大臣室

喜びの訪問は続きます。法務副大臣門山宏哲先生です。

ここからは千葉調査士会での活躍からお知らせをいたします。

遡ること16年、全国ADRセンター発足では、弁護士会との協働でどこも四苦八苦のさなか、ゴルフ場で会長の勧誘に乗った門山先生です。

その後の10年をセンター調停員、運営委員に費やすことになるとは思いもよらず調査士会とご縁が始まります。

平成24年県庁所在地千葉1区から衆議院議員に当選された後、超多忙な国会議員を引き留めてはと戸惑いもありましたが隔月の第2火曜日は調査士会館運営委員会に皆勤、丁々発止のADR事件に常々冷静な助言をいただきました。紛争というパンドラの箱を開けて始まったADRセンターは土地家屋調査士の不器用な人間性もあらわになります。額に汗して境界の真実を語る土地家屋調査士の人となりに、理解を示してくれる数少ない政治家のおひとりです。(選挙には弱いと)自虐される先生ですが、その誠実で朴訥な人柄がどうやら調査士と惹かれあうDNAなのかもしれません。

3 年前に法務政務官、このたび法務副大臣、法務省を介してのこれからのご活躍は、調査士制度の充実と一進一退で連動するもの、全国調査士の喜びの声をひとまず届けることが叶いましたが、ここからが本番、副大臣の目にするところ我ら土地家屋調査士の結束を楽しみに見守ってください。

　就任早々、超多忙な副大臣お二方への表敬訪問は三会役員との信頼関係から実現できたものです。見事な連携でありました。

（全調政連会計担当　久保田）



（中央）門山法務副大臣